

(案)

## 高速道路の正面衝突事故防止対策に関する技術検討委員会 設立趣意

我が国の暫定二車線の高速道路では、その大部分がラバーポールで上下線を区分する構造となっており、対向車線への車両の逸脱による正面衝突事故が発生するなど、安全性の課題がある。

これまで、暫定二車線の高速道路については、その交通状況を踏まえつつ、四車線化、付加車線の設置等を進めているが、命を守る緊急性に鑑み、喫緊に正面衝突事故を防止する対策が求められている。

暫定二車線の高速道路の正面衝突事故を防止する対策は、狭い幅員の中で実施することとなるため、その立案にあたっては、事故防止効果のほか、走行性、維持管理、非常時の緊急対応等の多面的な検討を行う必要がある。

こうした状況を踏まえ、交通工学、交通安全施設等を専門とする有識者から、効果的な正面衝突事故を防止する対策の助言を頂くため、高速道路の正面衝突事故防止対策に関する技術検討委員会を設置する。